

# 平成23年度 決算報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

\* 千円未満四捨五入 △=減

- (1) 経常収益は、計41,183千円でした。その主な内訳は
- ① 基本財産運用益が、国債の受取利息など 3,631千円。
  - ② 受取会費は毎日新聞社、東京放送、毎日放送の各賛助会員から9,250千円。
  - ③ 事業収益は、アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）から委託を受けている電話相談事業収益の16,824千円、武蔵野市電話相談事業収益の1,481千円など計18,663千円。
  - ④ 受取寄付金は、アフラックからの寄付金8,030千円。
- (2) 経常費用は、事業費が40,225千円、管理費が5,933千円の計46,157千円でした。主なものは事業費の賃借料（事務所の家賃）8,249千円、財団報の原稿料や電話相談員への報酬など諸謝金8,527千円、シンポジウムや順天堂の医師による認知症相談室などの委託費6,522千円。
- (3) この結果、経常収益から経常費用を控除した当期経常増減額は前期の△11,750千円より大きく改善する8,262千円でした。
- (4) 経常外収益、及び経常外費用はともにありませんでした。
- (5) 当期末の資産は、流動資産が14,000千円。固定資産は、基本財産346,510千円、特定資産20,504千円、及びその他固定資産（敷金ほか）3,284千円で、固定資産合計は370,298千円。資産合計は384,298千円。負債は、アフラックからの前受金8,000千円ほかで負債合計は13,085千円。この結果、正味財産合計は、371,213千円となり、前期比プラス8,262千円となっています。